

日中経済交流研究会新聞

日中経済交流研究会 12月例会報告

中国向け越境EC現況

～平和堂(中国)越境ECの取り組み～

報告者 平和堂(中国)有限公司 日本支社 吉川 信行 氏

日時 2021年12月15日(水) 18:30～

場所 道頓堀ホテル 及び オンライン (Zoom)

参加人数 55名



平和堂会社概要と越境ECについて

平和堂は、1957年創業、滋賀県彦根市に本社を置く総合小売業で、滋賀県を中心に関西・中部地方に156の店舗を持っています。1983年に滋賀県と中国湖南省が友好都市提携(琵琶湖と洞庭湖という湖つながりの縁)を結んでいた関係から、1995年に中国湖南省長沙市に湖南平和堂実業有限公司を設立し、1号店を出店(現在は4号店まで出店)しました。湖南省は、人口7,300万人、面積21万km²で、中国中南部の省で南部に揚子江、東西南部の三方は山、北部に洞庭湖がある山紫水明の地です。毛沢東ほか優れた人材を輩出し、中国の歴史に大きく貢献した省です。

さて、吉川様の報告を聞くにあたり「越境EC」とは何かを調べました。越境ECは、インターネット通販サイトを通じた国際的な電子商取引を指します。ECは「Electronic Commerce(電子商取引)」の略で、クロスボーダートレード(CBT)と呼ばれることもあります。

平和堂中国が越境ECに取り組んでいる背景

平和堂(中国)は、2014年より自社サーバーを設置し、中国全土のお客様にBtoCのサービスを開始し、2017年5月より本格的に「越境EC Japan Mall」を中国国内では外資系企業として初めて営業を開始されました。平和堂(中国)が、越境ECに取り組んでから現在までに五つの背景があります。①訪日外国人に占める中国人の割合の増加(2010年16.4%→2015年25.3%→2019年30.0%)②訪日中国人数の増加(要因：ビザ発給の緩和、格安航空会社の台頭、円安)③2015年の爆買いブームのピークと2016年以降の円高シフトと中国政府の爆買い防止措置(関税アップや外貨引き出し額の制限)および2019年1月の電子商取引法施行(ネット販売業者の申請性や納税義務)④2020年のコロナショックによる巣ごもり需要の増加⑤中国GDP成長率の鈍化(2021年1～3月18.3%、4～6月7.9%、7～9月4.9%)。このような環境下で、中国製品に対する不信感と日本製品に対する安心感から「越境EC Japan Mall」の需要が増加していきました。

拡大する越境EC市場

越境EC貿易は、関税は0%+増値税は7掛けとなります(例:家庭用品13×0.7=9.1%)。メリットとしては、中国政府許可群製品は事前書類のみで成分検査不要、中国側での輸入書類不要や日本側でもインボイスとパッキングリストのみでよいといった点。デメリットとしては、食品への規制強化(2019年8

月)や対象が個人であることのひもづけが必要、購入価格の上限設定(1回5,000元、年26,000元)があげられます。中国製品による不信感と人気が高まる日本商品という背景があり、2016年～2021年の5年間で中国個人向け越境EC市場規模は1.84倍で9,801億元(2021年)となっています。海外で購入後リピート購入したいという中国人が多く、また検索エンジンで商品検索せずに、よく使うショッピングモールで商品検索をします。天猫(テンマオ)、京東(ジンドン)で全体の8割を占めていて美容関連、ベビー・マタニティ関連や健康食品といった商品が売れ筋ですが、中国大手企業の「作られた売れ筋」に過ぎず、日本にある素晴らしい商品や本物の商品が知られていないのが実情ですので、越境ECは、今後さらに拡大しながら変化していくと考えられます。

中国向け越境EC(BtoC)の参入方法・越境EC参入の障壁と平和堂商城日本館

中国向け越境EC(BtoC)の参入方法としては「①ECプラットフォームの運営者になる ②既存現地プラットフォーム(大手EC天猫、京東などへの参入やプラットフォームの租借)への参加」がありますが、言葉・文化の壁、物流の壁、決済の壁といった三つの障壁があります。平和堂商城日本館は、これら障壁を解決した、日本企業に特化した越境ECです。詳しくは、URL: www.pht-jp.comをご参照ください。

【感想と御礼】

私は、今回初めて越境ECについて、お話を聞くことができました。非常に最先端の仕事で、聞いた内容がほぼ初めての情報でした。当社のような製造業(工業用品ゴム製品製造)にとっては、まだまだ先のことで縁のない世界に感じましたが、コロナ禍のたった2年でWEB化(リモート化)が進んだことを考えると、突然、越境ECに直面することがあるかもしれないと思いました。結びに、ご報告いただいた平和堂(中国)の吉川様と湖南省長沙市からWEBにて中国現状をご紹介いただいた手塚様に御礼申し上げますとともに、貴社の中国でのますますのご発展をお祈り申し上げます。ありがとうございます。

